

888. Quasi-field, Normal bases

中山 正 (阪大)

最近 Jacobson の ガロア理論、主定理ヲ次ノ様ナ
意味ニ於テ Quasi-fields マテ扱ケタ。即チ P ヲ σ ノ
quasi-field. σ ニ n 有限ノ outer automorphism
ノ群 σ (unit element 以外ガミナ outer ノ意) ガ興
ヘラレテキルトシ、 σ ノ order ヲ n 、マタ σ テ動カヌ
元ノナス quasi-subfield ヲ Φ トスル。シカラバ
($P:\Phi$) = n テ P ト Φ ノ間ノ quasi-fields ト σ
ノ subgroups ノ間ニ例ノ通りノ一対一對應ガ存在ス
ル。(($P:\Phi$) = n ハ両側ガデアル)。

以下ニオイテ、更ニ P ハ Φ 上ニ對シテ Normal basis
ヲモツ。即チ Φ ノ左加群 P ヲ更ニ σ ノ右加群ト見タトキ
得ラレル σ ノ表現 (Φ = オケル) ハ σ ノ正規表現ト
同値デアル。即チ更ニ云ヒカヘレバ

$$b^E, b^R, b^S, \dots, b^T \quad (\sigma = \{E, R, S, \dots, T\})$$

ノ如キ σ ノ元ノ conjugates (σ = 關スル) カラ成
立ツテキル P ノ Φ 上ニ對スル左 basis ガ存在スルコト
ヲ証明スル。

証明ノ方法ニツイテ： 普通ノ Commutative ノ場合
ノ normal basis ノ定理ノ証明トシテハ (Noether
ノ最初ノ然シク急ノアツタモノヲ除キ) Deuring ノ第一
ノモ (*Annalen* 109), Hasse-Branner ノモ

(Hasse, 類体論講義, Brauer: Anhalten 110),
Deuring / 第二 / 10 / (Annalen 113), Stauffer
(Amer. J. 58) 等がアリ更 = Artin / unpublished
ノモノガアル。

最初ノニツハ共 = 基礎体デナク上ノ体 = オケル = 表現
ノ同値カラ下ノ体 = オケルモノヲ出ス方法ヲ本質的 = 相当近
イモノデアアル。シカシコノ方法ヲ直接我々ノ場合 = modify
スルコトハ非常 = 困難 = 見エル。マタ Artin ノハ inter-
polation / 公式ヲ使フノデ、コレモ困難 = 見エル。以
下ハ従ツテ Deuring / 第二 / 10 (Stauffer / 10 大
体同ジ idea デアル) modify スルコトヲ試ミルノデア
ル。

但シコノ方法ハ Speiser / 定理 / 拡張及ビ有限群
ノ表現ノ分解ヲ主ト補助トスルノデアツテ、 χ ノタメ =
Deuring (及ビ Stauffer) ノ第二ノ群ノ表現ノ分
解ガ普通ノ如ク行ク場合、即チ体ノ標数ガ 0 ノ order
 n ノラズ 従ツテ 0 ノ群環ガ semi-simple = ナル
場合 = 限ラザルヲ得トカッタ。然シ χ ノコト / non-semi-
simple + algebra / 正規表現ノ理論 (主トシテ Brauer-
Nesbitt) ノ χ ヲデトイ一般ノ場合 = マデ証明ヲ拡張スル
コトヲ可能トラシメヲキルノデアアル (近刊 Frobeniusian
algebras, II, 附録)。

従ツテ以下ノ quasi-field / 場合モ χ / 点ハ大丈
夫デアアル。

次 = 一寸注意シテ置キタイノハ我々ノ興味ハスベテ P がソノ center = 對シテ無限階デアール場合 = アルコトデアール。有限階ナラバ万事殆ンド trivial = ナルノデアール。

サテ、 P ノ center ヲ Z トシ、 $\mathfrak{k} = \Phi \cap Z$ トオク。更ニ \mathfrak{k} ノ第一種有限次拡大 \mathfrak{k}^* ヲ考ヘ、 \mathfrak{k} ヲ基礎体トシテ、ソレヲ \mathfrak{k}^* マデ拡張スルコト = ヨツテ P 、 Φ カラ得ラレル $P_{\mathfrak{k}^*}$ 、 $\Phi_{\mathfrak{k}^*}$ ヲソレゾレ P^* 、 Φ^* デアラハスコトニスル。 P/Φ ノ automorphism ハ P^*/Φ^* ノソレト考ヘラレル。
 $(P^*, \Phi^*$ ハモハヤ quasi-field デハ一級 = $n+1$ 。然シ semi-simple ring デアル)

補助定理 (Speiserノ定理ノ拡張) σ ノ各元 $\sigma = P^*$ = オケル regular matrix C_S が對應シテキテ且ツ

$$(1) C_S C_T^S = C_{TS}$$

ヲ滿シテキルトスル。然ラバ $C_S = A^{-1}A^S$ トナル様ナ P^* = オケル regular matrix A が存在スル。

証明ハ P^*/Φ^* デナク P/Φ ノ場合 = ハ Jacobsonノニマツテアリ。我々ノ場合モ容易 = 同様 = 証明サレル。即チ (ルシク Jacobsonノトハ異ツタ云ヒガ述べレバ)

$$u_E, u_S, \dots, u_T$$

ナル元ヲ新タニ導入シテ crossed product

$$\mathcal{Y} = u_E P + u_S P + \dots + u_T P$$

ヲ考ヘル。タガシコト =

$$u_s \eta^s = \eta u_s \quad (\eta \in \mathbb{F}), \quad u_s u_T = u_{sT}.$$

シカラバ、コレハ simple ring = +ル (Jacobson 参照)、シカモソノ center が \$k\$ デアルコトハ明カデアル。
 今ソレヲ \$k^*\$ マデ拡張スレバ結局ソレハ

$$k^* = \eta^* = u_E P^* + u_S P^* + \dots + u_T P^*$$

+ル crossed product = 外 + ラス。故 = \$\eta^*\$ 是 simple ring デアル。他方関係 (1) ヲミタス \$C_S\$ が興ヘラレタコトハ、ソノ次数 \$\gamma\$ トスレバ

$$V = v_1 P^* + v_2 P^* + \dots + v_n P^*$$

+ル vector space = オイテ \$u_s = \wedge (C_s, S)\$ +ル semi-linear transf., \$\eta \in P^* = \wedge v \rightarrow v \eta\$ +ル transf. ヲ對應サセルコト = ヨツテ、\$V\$ が \$\eta^*\$; 右加群 = +ル事デアル。

シカレ = simple ring \$\eta^*\$, 右加群ハ單 = \$\eta^*\$, center \$k^*\$ = 對スル behavior デキマル。ヨツテ今 \$\{C_s\}\$ ノカハリ = \$\{E\}\$ ヲトツタトキ、加群 \$V\$, ヲ考ヘルト \$k^*\$ 1元 = \$\wedge\$ 同型 = behave スル。故 = \$V\$ ト \$V\$, ハ作用同型、ス + ハチ

$$C_s = A^{-1} E A^s = A^{-1} A^s$$

+ル regular matrix \$A\$ が存在スル。

定理ノ証明:

上ノ \$k^*\$ ヲ適當 = トツテ有限群ヲ、absolutely irred. + 表現ガミテ \$k^*\$ ノ中 = アル様 = スル。(以下簡單

ノタメ O_f / order n ハ体ノ標数ヲ割リテイトスル。〔割
レル場合 = ヲイテハ前述拙著ヲ参照サレタイ〕。我々、関
心ハ今ムシロ $comm. \rightarrow non-comm.$ = アルノガカ
ラ)。ソノ様ナ $k^* =$ オケル $irred.$ 表現 $S \rightarrow U_S$
ヲトル。

シカラバ $U_S U_T = U_{ST}$, 即チ $U_T' U_S' = U_{ST}'$ ナル。
(タツシユハ $transposition$)。シカル = コレハ関係
(1)ノ $special\ case$ ナル。故 = regular matrix
 A in P^* ガアツテ

$$U_S' = A^{-1} A^S \quad \text{即チ} \quad A^S = A U_S'$$

ナル。即チ $A = (a_{ij})$ トスレバ

$$(2) \quad (a_{i1}, a_{i2}, \dots, a_{in})^S = (a_{i1}, a_{i2}, \dots, a_{in}) U_S'$$

從ツテ、マタ

$$(3) \quad \begin{pmatrix} a_{i1} \\ \vdots \\ a_{in} \end{pmatrix}^S = U_S \begin{pmatrix} a_{i1} \\ \vdots \\ a_{in} \end{pmatrix}$$

ナル ((2)カラ (3)ヲ出ス) = U_S ガ k^* ノ行列ナルコト
ガ使ツテアル)。

今 r^2 ノ個ノ P^* ノ元 a_{ij} ガ $\Phi^* =$ ~~異~~シテ 左側一次
独立ノコトヲ云フ。

假 =

$$(4) \quad \sum_{i=1}^r \sum_{j=1}^r \varphi_{ij} a_{ij} = 0 \quad (\varphi_{ij} \in \Phi^*)$$

トスル。

他方 U_E, U_R, \dots, U_T / \mathcal{L}^* = 於ケル適當な linear comb. ヲツクれば任意に $\mathcal{L}, \mathcal{L}' =$ 對シテ行列單位 $\varepsilon_{\mathcal{L}, \mathcal{L}'}$ が得ラレル。ヨツテ今 $\varepsilon_{11} =$ ナルヲトリ、ソレニ相當スル E, R, \dots, T ; lin. comb. ヲ $a_{ij} =$ ホドコセバ (2) スハ (3) = ヨリ

$$a_{i1} \rightarrow a_{i1}, \quad a_{ij} \rightarrow 0 \quad (j \neq 1)$$

故ニ (4) カラ

$$(5) \quad \sum_{i=1}^r \varphi_{i1} a_{i1} = 0$$

トナル。又 $\mathcal{L}' = \varepsilon_{1j}$ = 相當スルヲホドコセバ (5) カラ

$$\sum_{i=1}^r \varphi_{i1} a_{ij} = 0 \quad (j = 1, 2, \dots, r)$$

トナル。即チ

$$(\varphi_{11}, \varphi_{21}, \dots, \varphi_{r1}) A = 0$$

デアル。然ルニ A ハ regular ナカラ $\varphi_{11}, \dots, \varphi_{r1} = 0$ 。同様ニシテ他ノ φ モミナ 0。即チ a_{ij} ハ 左側 \mathcal{L}^* = 對シテ一次独立デアル。

ヨツテ a_{ij} テ張ラレタ \mathcal{L}^* -左加群

$$m = \mathcal{L}^* a_{11} + \dots + \mathcal{L}^* a_{1r} + \mathcal{L}^* a_{21} + \dots + \mathcal{L}^* a_{rr}$$

ヲ考ヘル。シカルトキ r 個ノマトメテミレバ各々が \mathcal{O}_f ノ (右) 加群ヲソレニヨル表現ガ $U_S =$ ナルコトヲ (3) ハ示シテキル。スナハチ m ハ U_S ヲ define スル如キ \mathcal{L}^* - \mathcal{O}_f -

加群 γ 度 γ 個ノ直和デアアル。

以上ノコトハアヲエル *irred* ナ表現 = ツイテ云ヘル。
ヨツテ Φ - \mathcal{O}_γ -加群 P^* = ヨル \mathcal{O}_γ ノ表現ハ正規表現ヲ含ミ
従ツテ次数ヲ考ヘレバ一致スルコトニナル。

P^* ヨリ Φ - \mathcal{O}_γ -加群 P = ツツルノハ容易デアアル。(Krull-
Remakノ定理 = ヨル)

群環ガ *semi-simple* ノ場合 = ハ U_s ヲ *irred* ノカ
ハリ = 、正規表現ノアル直既約成分ヲトリ、ソノ時 γ^2 個ノ
 a_{ij} スベテガナク。適當ナ γ 個ノ横行 (タビシクハ U_s =
對應スル (Brauer-Nesbittノ意味デ) 既約表現ノ次数)
= 属スル a_{ij} ガ一次独立ノコトガ云ヘルノデアアル。悉ク
ハ省ク。(ソノ既約成分ガ最大直可約成分ナルコトヲ使用ス
ルノデアアル)

附記 I: 上ノ証明デハ b^E, b^R, \dots, b^T ナル 左 basis
ノ存在ヲ証明シタ。同様ニ同ジ形ノ 右 basis ノ存在ガワカ
ル。然シ同時ニ左右ノ basis ニナルヤウニ出来ルノダラ
ウカ?

附記 II: 上記 = Speiserノ定理ノ拡張ヲ使用シタ、
我々ノ目的 = ハコノ形デヨイノダガ、定理自身トシテハ

$$(6) \quad C_S^S C_T^{-1} C_{TS}^{-1} = D_S^S D_T^{-1} D_{TS}^{-1}$$

ナラバ $C_S = A^T D_S A^S =$ ナル、ノ形 = 云ヒタイノデアアル。事
實 *comm.* ナ P デハ云ヘル事ハヨク知ラレテキル。シカシ
ソノ場合ノ証明ハ $A = \sum_{\mathcal{O}} P^S D_S^{-1} C_S$ ナル形ノ行列ヲ考ヘ、

コレが *regular* = ナルヤウ = \mathcal{P} マキメル / テアル。
 (大島: 数論 20 参照), シカシコレデハ \mathcal{P}^S が (6) ト *Com-*
mutative デナイト 跡目デ旨ク裁々ノ場合 = 行カナイ。
 然ラバ, 構造論的ニ証明トナルト, ソレニハ上記ノ *crossed*
product \mathcal{R} = 相当スル *ring* が 守 = 負ヘルモ / デナイ
 ト困ル。即チ *factor set* (6) が適當デ \mathcal{R} = 相当スル
ring が *simple* デナクトモ, *semi-simple* 或ハ
 ソウデナクトモ *uni-serial ring* 乃至ハ *generalized*
uni-serial ring (*Frobeniusean algebras II*,
 参照)。寧トラソレノ *Module* ノ構造ガワカルカラ出素
 ル。シカシ *gen. uni-serial ring* が現在 (有限)
moduli ノ構造, *Über-sicht* / 得ラレル最モ一般
 ノ *ring* ノ様 = 思ハル。ソレ以外ノ一般ノ *ring* ノ場合
 ガトドウモ旨ク行カナイ。何か旨イ工夫ガアルト出素ルノ
 ガラツト思フノダガ、御教示ヲ得レバ幸甚デアアル。